

南部地区学校・家庭・地域連携実践発表会

平成29年11月22日（水） 会場：響の森桶川市民ホール （総参加者数 461名）

1 開会行事

- (1) 開会のことば
- (2) あいさつ 埼玉県教育局南部教育事務所長
- (3) 登壇者紹介 埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課
埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課

2 実践発表

発表校等	発表内容
実践発表Ⅰ 新座市立西堀小学校	「地域に住む方々に支えられて ～西堀小学校応援団の取組～」
実践発表Ⅱ 鴻巣市立鴻巣南中学校	「地域とともに進める南中づくり」
実践発表Ⅲ 志木市教育委員会	「地域の人材を活用した 特色ある『放課後子ども教室』活動の推進 ～地域の人材を生かし、学習に特化した 『放課後学習教室』の取組～」

地域に住む方々に支えられて
西堀小学校応援団の取組
～地域と学校が連携しながら
子供の教育を見守り育む～

新座市立西堀小学校
教 頭 小島 孝之
めんどり隊代表 永井 美知子
子すずめ隊代表 有澤 サチ子
図書ボランティアさくらんぼ代表 谷口 泉
スクールガードリーダー 岩崎 和枝

平成29年度南部地区
学校・家庭・地域連携実践発表会



「地域とともに進める南中づくり」
～体験学習・学校ファーム・ボランティア活動を通して～
鴻巣市立鴻巣南中学校

**地域の人材を活用した特色ある
「放課後子ども教室」活動の推進**
～地域の人材を生かし、学習に特化した
「放課後学習教室」の取組～

志木市教育委員会
生涯学習課 佐野・斉藤
志木第四小学校
学習教室担当講師 前田

- 3 指導・助言・情報提供 埼玉県教育局市町村支援部家庭地域連携課
埼玉県教育局市町村支援部小中学校人事課

4 参加者の感想など

- (1) 昨年度まで北部と南部が別々の開催で、他地区の事例を聴きたくても聴けなかったが、今回は、北部、南部の両者の事例を知ることができ、大変よいことだと思った。
- (2) 地域やPTAの連携、学校の協力など密接な関係にあり、お互い支え合って子供たちの発達と成長を見守るという形は良いと思った。
- (3) 学校側だけでなく、コーディネーターも同じ発表を聞いているので、同じイメージから進めることができるので効果的であると思った。
- (4) 少子高齢化の中、子供たちと高齢者の方のコミュニケーションが身近にとれる機会としても魅力的である。教員の負担軽減も含め、このような取組をぜひ共有したいと思った。
- (5) 各学校によって取組が違うので、とても参考になった。地域と学校の連携やコミュニケーションはとても大切だと思った。